

令和4年度稲城市地域自立支援協議会（第3回）

〈議事録〉

日 時：令和5年1月16日（月）

15時00分～17時00分

場 所：稲城市地域振興プラザ 大会議室

【出席者】

令和4年度稲城市地域自立支援協議会 委員名簿

役職	氏名	選出区分	組織名・役職等
会長	藏野 ともみ	学識経験者	大妻女子大学
副会長	山本 あおひ	福祉サービス事業者	社会福祉法人 正夢の会
	石川 哲	福祉サービス事業者	NPO わくわく
	菊池 晴美	保健医療関係者	東京都南多摩保健所
	津野 由記子	保健医療関係者	島田療育センター
	青野 修平	教育・雇用関係者	社会福祉法人 正夢の会 地域支援局 相談支援部 部長
	進藤 直人	障害当事者団体	稲城市身体障害者福祉協会
	高野 玲子	障害当事者団体	稲城市精神障害者家族会
	狩野 和枝	稲城市民生児童委員協議会	民生児童委員

事務局 福祉部長：山田、障害福祉課長：飯塚、障害福祉課支援担当係長：細山
障害福祉課障害福祉係長：眞下、障害福祉係：森橋、福岡、田中、松浦
稲城市社会福祉協議会：山崎、マルシェいなぎ：山下

傍聴者 4名

配付資料

- 資料1 令和4年度稲城市地域自立支援協議会 委員一覧
- 資料2 令和4年度第3回相談支援部会報告
- 資料3 令和4年度第3回精神保健福祉部会報告
- 資料4 障害関連計画策定にかかるアンケート案
- 資料5 その他資料

1 開会

2 部会報告

① 相談支援部会報告

令和4年11月29日に開催された令和4年度第3回稲城市障害者相談支援部会【資料2】について事務局から報告を行った。

議題1：地域生活支援拠点について

地域生活支援拠点整備の目的として支援対象者の登録について協議した。現在各計画事業所が利用者登録や相談登録する際に登録しているものを支援対象者登録者として考える。次回、登録方法等を検討する。

⇒議題1に対する協議会内での意見等

- ・地域生活支援拠点の進捗状況がわかりづらい。登録方法の検討、もしくは周知に関して具体的に協議していることがあれば伺いたい。
→地域生活支援拠点について、事業者を集めて説明会を開くところまで進んでいない状況。相談支援部会や市で「申請から利用までの流れについてももう少し共通の認識を持つ必要がある」といった意見が出た。そのため、相談機関が登録を受け、市と共有し、事業者へ連絡するまでの体制を具体的にどのようにしていくかを現在協議している。もう少し具体的にまとまったら、今までメールでのお知らせだけとなっていた相談支援事業者を集めてご説明したい。

議題2：障害者一般相談について

計画相談支援事業所が不足している現状があるため、訪問系サービス利用者の中で安定している方をセルフプランへ移行できるか検討した。親亡き後も考え、利用したい方も多く、他市の状況等把握し、継続して検討することとした。また、障害者一般相談について、市民に知られていない現状があり、今後周知も課題となっている。

⇒議題2に対する協議会内での意見等

- ・一般相談の周知は長年の課題となっている。具体案を出してほしい。
→一般相談の周知不足について、利用者の増加、特に精神障害で就労継続支援B型の利用者が増えている中で、相談する頻度もかなり増えてはいるが、一般の方への周知がかなり不足しているという意見が出た。広報への掲載やホームページでの周知、地域の自治会や民生委員との連携も検討したい。
→広報や民生委員への協力依頼の実施があれば、具体的に行ったことを知りたいので共有してほしい。
- ・セルフプランへの移行について国の方でも今後の課題になっているが、利用者の現状もある。利用者にわかる形で提示する準備が必要になってくる。移行できるか検討したという内容に関して、現状の問題点等を、今後は議事録等で明文化して残してほしい。

- ・以前児童の計画相談はなかなか事業所がなくセルフプランが多いことが課題になったが、児童の相談事業所が新たにできたことにより現状はどうなっているか。
 - 現状はセルフプランを使う方が大半で、計画相談が入っている方は少ない。困難事例や複数事業所を利用している方に関しては調整が必要だと思うので、事業所に積極的に入っていただきたい。
 - 現状セルフプランの方が多く、計画相談を希望されている親御さんが多いということか。
 - 意思がありしっかり調整できる方だと、セルフプランでできてしまう方が大半です。調整能力やお子さんの障害が重い方だとやはり計画相談が必要な方もいる。そのような方にはこちらでも勧めていく。
- ・都内に、児童発達支援から放課後等デイサービスに移る時、計画相談が一旦切れてまた新たに契約し直さないといけないという区がある。稲城市ではどうか。
 - 児童発達支援の年長時には就学と放課後等デイサービスを見据えて計画をする必要があるので、計画相談は継続していく。サービスが変わるタイミングで切れてしまうことはない。

議題3：新規事業所の紹介

新規事業所について、相談支援部会内で共有を行った。

⇒議題3に対する協議会内での意見等

- ・他市の事業所の紹介はとても良い情報だと思うが、もう少し具体的な報告だとよい。

② 精神保健福祉部会報告

令和4年10月25日に開催した令和4年度第3回稲城精神保健福祉部会【資料3】について事務局から報告を行った。

議題1：地域移行支援についての協議 稲城台病院の現状説明

利用者への動機づけの為に稲城台病院に作業所や地域活動支援センター、相談事業所等のパンフレットを置くことについて、パンフレット内容の確認、管理方法等検討中。その他、コロナ以前に実施していたバスツアー（病院のデイケアやOTの方々が市内作業所を見学してもらい、地域資源を知ってもらう）は、地域移行を進めるためにも時期を見ながら再開をしていく方向で意見が一致した。

⇒議題1に対する協議会内での意見等

- ・バスツアーとは、誰を対象としたものか。
 - 稲城台病院の職員を対象としている。職員が地域資源を知るという目的で行う、作業所や地域活動支援センターの見学ツアーです。

議題2：稲城市の社会資源を理解するためにグループホーム（ハウス梨里）から事業等紹介

適切な支援を行うため、一律の基準や仕組みではなく、当事者それぞれの支援を構築していくこと、成功は長期的な視点で判断することが重要。また、日々関わっていく各関係機関の、つなぎ目の部分を重ねることが大事なので、日頃の仕事から連携し、顔が見える形で、関係者と信頼関係を構築していくことが重要であるとあらためて確認した。

⇒議題2 対しての協議会内での意見等

特になし。

(その他協議会内での意見等)

- ・1回の自立支援協議会で1つを目安に、具体的なケース対応を発表、共有してもらえると良い。課題を引き出すような事例もあるかと思う。近年、障害のある方の高齢化問題も言われているので、各委員知恵を絞れるところや民生委員さんの協力を得られるところもあるはず。

→高齢化の例でいうと、作業所に通所されている方たちがだんだん高齢化してきて、少し前はできていた仕事ができなくなってきたり、通所の日数が減ってくるといった影響が出てきている。今はまだ簡略化や負荷を減らすことで対応できているが、国は工賃を稼ぐほど報酬を上げる体系なので、そこから取り零されていく方をどうしたらよいか。このまま続けたら法人として成り立たなくなるといった課題にも広がっていく。

3 障害関連計画の策定にかかるアンケートについて【資料4】

令和5年度に策定を予定している障害関連計画に係るアンケートの案について説明。追加で入れるべき質問や質問の聞き方等について、協議会委員へ意見を伺った。

⇒協議会内での意見等

- ・書式に関しては令和4年度第2回自立支援協議会で提示していたもの同様にしやすいものになるか。
→今回質問内容を見ていただきたく一番基本的な書式にしている。ルビや書式について前回と全く一緒になるかは分からないが、今後見やすく直していく。
- ・タイムスケジュールはどうなるか
→前回1月に完成形をお示しすると言ったができなかった。後日メールでお示しする。
- ・「前問で」や「問5で」と表現が不一致な部分は統一したほうがわかりやすい。その他、問21、22、24、25は項目の整理が必要。
→内容を精査します。
- ・問21について、やるべき事やらなければならない事が多い印象がある。障害がある方の日中の過ごし方に楽しみや余暇、習い事の選択肢がない。もう少しゆとりがある内容の選択肢があるとよい。
→その他で余暇活動と記載する仕様だと思うが、選択肢として出すことも検討したい。
→計画に生かしていく内容になってくると思うので、余暇活動がこの中の選択肢に入ると少し違和感がある。新たな項目を立てたとして、それが計画に生かされるかが大事。実態調査なのか主旨の整理が必要。
→この設問では実態を調査したい。ゆとりの部分については、問19の外出の目的で選択肢がある。
- ・日中活動先や働く場がもっとほしいといった声や、金銭管理の機能の充実があると安心といった声も聞くので、問16で追加するのはどうか。
→問16は問15を受けて、今後4年以内に希望する暮らしのためにどのような支援があれば良いかを質問している。金銭管理に関しては問28で質問している。一つを突き詰めていくと選択肢が膨大になってしまう。

- ・問 35 と問 45 は質問が重複していないか。
 - 問 35 までがサービスに関わる設問で、問 36 から幅広く施策について質問しているので、区切りをつけている形。
 - 前回はその質問が併記してあったので違いが分かりやすかった。
 - 併記にするか、問 36 の前に「次からは広く政策についてお尋ねします」といった区切りをつける文言を入れる方法にするか検討させていただきたい。
- ・問 44 について、複数回答だと全部にチェックがついてしまうと思う。希望する上位いくつまで、といった形にした方がよいのではないか。
 - 前回調査では 3 つまで選択可であり、今回その記載が漏れていた。追記の修正をいたします。

⇒今回の意見を踏まえ、書式等も含め修正したものを各委員にメールで送る。ご意見を返していただくまでのスケジュールがタイトになることが想定されるので、各委員には今回この場で議論した部分を中心にご確認ください。

4 その他【資料 5】

議題 1：令和 5 年度地域自立支援協議会について、開催日程（案）の説明を行った。

⇒議題 1 対しての協議会内での意見等

- ・障害福祉計画が策定されるということで例年 3 回のところ 5 回になっているのか。
 - はい。
- ・パブリックコメントが出るのはいつか。
 - パブリックコメントの内容を検討するのが 2 月、完成形になるのが 3 月の予定。

議題 2：市内事業所の廃止・開設のお知らせ

廃止：『地域活動支援センターえる』令和 4 年 11 月末日放課後等デイサービス以外の居宅介護サービスを中心に廃止。

開設：『スマイルオン』令和 4 年 12 月 1 日計画相談支援。

『RUE 若葉台』令和 5 年 1 月 1 日グループホーム。

『ラヴィ東長沼』令和 5 年 1 月 1 日生活介護。

開設予定：『ハウス・ウィン稲城』令和 5 年 2 月 1 日グループホーム。令和 5 年 1 月 29 日に説明会を予定。1 階 2 階男女各 5 室、計 10 室。対象は知的障害者、精神障害者。時期は未定だが短期入所男女 1 室ずつ開設予定。

以上